白保魚湧く海保全協議会　令和3年度（2021年度）　活動報告書

2022.3.25 作成

日付	活動	概要	備考
4/1	第34回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人25名　子ども10名 燃えるゴミ 2袋、燃えないゴミ 15袋、ペットボトル 14袋（700本）、漁具 4袋、発泡スチロール 29袋、缶1袋、ビン1袋、電球 1、発砲スチロール 大10、ブイ 大3個、プラケース 大9個、扉1、プラ棒1、布団1	主催：当会
4/6	総会	出席：6名	主催：当会
4/14	赤土堆積量調査（春季） 白保海域30箇所。SPSS法による海底の赤土の堆積量を測定	実施：8名 最大値は135.6kg/m3で空港南海岸寄りのF地点。30地点のうちサンゴに影響が出始める5b以上のランクは9ヵ所。	実施：当会 連携：NPO夏花
5/1	第35回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人30名　子ども4名 燃えるゴミ 2袋、燃えないゴミ 27袋、ペットボトル 11袋、漁具 6袋 発泡スチロール 11袋、ロープ 1袋、缶 1袋、瓶 1袋、危険物 1袋、われもの 1袋、危険物 1袋、電球 1袋、ブイ大 9個、発泡スチロール大 3個、プラスチック大6個、プラバケツ 3個、プラ棒 大4	主催：当会
5/7	白保中2年 環境教育支援	生徒：17名　実施：3名 座学　サンゴ礁学習　クラス授業 海底の赤土堆積分析	実施：当会 連携：NPO夏花
5/26	海中清掃	実施：4名 海中ゴミ 約100kg 4カ所。サンゴに絡まっている漁網を外し、船で浜まで運ぶ撤去作業を行なった。地元メディアに取りあげられた。	主催：当会
5/28	白保中2年 環境教育支援	生徒：16名　実施：5名 プールでのシュノーケリング技術指導	実施：当会 連携：NPO夏花
6/14	海岸清掃感謝ツアー	参加：4名　実施：2名 白保海岸清掃3周年記念にシュノーケリングツアーを実施	主催：当会
6/16	海岸清掃感謝ツアー	参加：4名　実施：2名 白保海岸清掃3周年記念にシュノーケリングツアーを実施	主催：当会
6/16	海中清掃・サンゴ礁調査	実施：4名 海中ゴミの漁網を撤去　30キロ程 白保海域のアオサンゴの産卵を確認	主催：当会
6/17	白保中2年 環境教育支援	生徒：17名　　実施：5名 白保海域でのシュノーケリング実習　生物観察	実施：当会 連携：NPO夏花
6/30	白保小6年 環境教育支援	生徒：19名　実施：3名 座学　サンゴ礁学習　クラス授業	実施：当会 連携：NPO夏花
7/1	第36回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人27名 子ども2名　3年間皆勤賞の小学生に感謝状。 燃えないゴミ18袋、燃えるゴミ2袋、ペットボトル16袋、漁具 3袋、発泡スチロール 11袋、缶 1袋、瓶 4袋、われもの 1袋、電球1袋、プラかご 2個、プラ棒大2、ブイ2個、ロープ100kg	主催：当会
7/1	海岸清掃感謝ツアー	参加：10名　実施：4名 白保海岸清掃3周年記念にシュノーケリングツアーを実施	主催：当会
7/5	白保小6年 環境教育支援	生徒：19名　　実施：5名 白保海域でのシュノーケリング実習　生物観察	実施：当会 連携：NPO夏花
7/14	赤土堆積量調査（夏季）	実施：6名 北側は浜に濁りがあった。最大値は114.4kg/m3でG-1地点。30地点のうちサンゴに影響が出始める5b以上のランクは9ヵ所。	実施：当会 連携：NPO夏花
8/1	第37回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人32名　子ども3名 燃えないゴミ 16袋、燃えるゴミ 1袋、発泡スチロール 7袋、ペットボトル 16袋、漁具 4袋、瓶 2袋、缶 1袋、われもの 1袋、電球 1袋、注射器1、ブイ大 2個、プラスチック大 2個、ポリタンク 2、プラ棒 大3、ロープ 約120kg	主催：当会
8/3	「海の日」海事関係功労受賞　伝達式	海の清掃活動に海上保安庁長官賞を受賞	主催：海上保安庁

9/1	第37回 海岸清掃 白保海岸	参加:大人39名　子ども4名 燃えないゴミ 19袋、燃えるゴミ 6袋、発泡スチロール 9袋、ペットボトル 13袋、漁具 6袋、瓶 2袋、缶 1袋、われもの 1袋、電球 2袋、危険物 1袋、ブイ大 2個、発砲スチロール 大1、プラスチック大 5個、ポリタンク 2、プラ棒 大5、ウレタンシート2	主催:当会
9/24	海中清掃	実施:1名 海中ゴミ 約30kg　2カ所　サンゴに複雑に絡まった漂流漁網の撤去	主催:当会
10/1	第38回 海岸清掃 白保海岸	参加:大人26名　高校生2名　子ども1名 燃えないゴミ 15袋、燃えるゴミ 4袋、発泡スチロール 3袋、ペットボトル 13袋(650本)、漁具 4袋、瓶 2袋、缶 1袋、われもの 1袋、危険物 1袋、ブイ大 5個、プラスチック大 6個、ロープ 約1トン	主催:当会
10/8	赤土堆積量調査(秋季)	実施:6名 最大値は53.7kg/m3、ワタンジ岸寄りの地点。30地点のうちサンゴに影響が出始める5b以上のランクは7ヵ所。	実施:当会 連携:NPO夏花
10/8	白保中2年 環境教育支援 インカチの修復	生徒:16名　　実施:6名 子どもたちが伝統漁の体験学習を行う目的として、沖縄県知事の特別の認可を受けて復元・使用。	実施:当会 連携:NPO夏花
10/19	白保中2年 環境教育支援 インカチ漁体験	生徒:19名　　実施:7名 潮の干潮を利用した石積み漁の体験。修復が間に合わなかった箇所は網を張り、魚を獲り、さばき、刺身にするところまで実施。体験を通し、郷土の文化、地産地消の食育、自然環境(水産資源、生物多様性)など多角面的、複合的な学びの場となるよう努める	実施:当会 連携:NPO夏花
11/1	第39回 海岸清掃 白保海岸	参加:大人30名　子ども4名 燃えないゴミ 24袋、燃えるゴミ 4袋、発泡スチロール 4袋、ペットボトル 11袋、漁具 5袋、瓶 1袋、缶 1袋、危険・われもの 1袋、蛍光灯 1袋、ブイ大 6個、プラスチックケース大 3個、ポリタンク 2	主催:当会
12/29	第40回 海岸清掃 白保海岸	参加:大人53名、子ども11名 燃えないごみ 16袋、燃えるごみ 3袋、ペットボトル 12袋、発泡スチロール 10袋、漁具 3袋、ビン 1袋、カン 1袋、危険物 1袋、われもの 1袋、ブイ大 8個、プラスチック大　4個、発泡スチロール大　5個、プラスチックケース 3個、長いプラスチック筒 1本、ロープ 15キロ	合同開催 当会 横目博二・貞子研究所
1/9	第41回 海岸清掃 白保海岸	参加:大人22名、子ども5名 燃えないごみ 11袋、ペットボトル 45袋(2250本)、発泡スチロール 15袋、漁具 6袋、電球 1袋、ブイ59個、発泡スチロール大27個、巨大ブイ　1個、プラスチック大　6個、ポリタンク　2個、ガスタンク 1個　※注)実際は燃えるゴミや、ビン類、カン類がなかったわけではありません。未回収です。	主催:当会
2/1	第42回 海岸清掃 白保海岸	参加:大人25名、子ども2名 燃えないごみ 12袋、燃えるごみ 1袋、ペットボトル 41袋(2050本)、発泡スチロール 14袋、漁具 6袋、ビン 1袋、カン 1袋、電球 1袋、キケン物 1袋、ブイ36個、発泡スチロール大 10個、発泡スチロール箱 1個、プラカゴ大 3個、クーラーボックスふた 1個、プラスチック大 1個、ウレタン大 2個、ポリタンク 2個、バケツ 2個、ガスボンベ 1個、ヘルメット大 1個	主催:当会
2/22	赤土堆積量調査(冬季)	実施:7名 最大値は、112.4kg/m3で轟川河口付近。30地点のうちサンゴに影響が出始める5b以上のランクは7ヵ所。	実施:当会 連携:NPO夏花
3/1	第43回 海岸清掃 白保海岸	参加:大人25名　子ども3名 燃えないごみ 11袋、燃えるごみ 1袋、ペットボトル 23袋(1150本)、発泡スチロール 3袋、漁具 9袋、ビン 5袋、カン 1袋、電球 1袋、われもの 1袋、ブイ大 91個、プラスかご大 4個、発泡スチロール大 17個、巨大なウレタン1、ウレタン板 2個、ポリタンク 3個	主催:当会
3/9	卒業生シュノーケリング	白保の高校3年生 9名　実施:3名　白保海域 どこへ行っても誇れる自分たちが育った海を感じて欲しいと実施	実施:当会 企画・連携:NPO夏花

【ご寄付】
旬家ばんちゃん様、桃原用昇様、ほか
海の保全活動、海中清掃の潜水用タンクや回収船の燃料代などに使わせていただきます。当協議会へのご理解とご協力に心より感謝いたします。
【ほか】
沖縄タイムス、琉球新報、八重山毎日新聞、八重山日報、石垣ケーブルテレビで海の清掃活動が紹介されました。

白保魚湧く海保全協議会　令和3年度（2021年度）　活動報告書

海の清掃活動

漂流し白保海域のサンゴに絡まった漁網の撤去。
この日は約100キロを取り外し、船で運び解体した

時間が経つにつれ、複雑に絡まる。速やかに撤去
作業を行なうことでサンゴへのダメージを軽減できる

毎月1日の朝、白保海岸のビーチクリーンを実施

3年間皆勤の豊田タケルくん（白保小3）に、海の生き
物にかわって感謝状を渡す

サンゴ礁調査

海底の赤土堆積調査
年4回 30カ所　砂を採取し、その中に含まれる赤土
の微粒子の含有量を測定

赤土堆積調査 分析（SPSS法）
ランクを9段階にわけて海底の状況を判断。ランク5b
からサンゴに悪影響が現れはじめる

環境学習支援

白保小6年　総合の時間内での環境学習支援

白保小6年　地元の海でシュノーケリング

白保中2年　総合の時間　海底の赤土堆積分析

白保中2年　海の生物観察

白保中2年　インカチの修復
郷土の文化、地産地消の食育、水産資源、生物多様性
など多角面的、複合的な学びの場となるよう努める

白保中2年　インカチ漁体験
魚を獲り、さばき、食べる。命をいただくこと、海の恵みに
感謝を忘れないことを伝える責任が当協議会にある

その他

表彰状

白保魚湧く海保全協議会殿

貴会は多年にわたり石垣島白保地区の清掃美化活動を実施され海をきれいにする運動に積極的に取り組み海浜の環境保全に貢献されました

よって海の日にあたりこれを表彰します

令和三年七月二十日

海上保安庁長官　奥島高弘

清掃活動に対し、海上保安庁長官賞を受賞

止まらない 環境破壊

恵みの海 脅かすプラごみ

地球の未来 どう守る

1/1の琉球新報、沖縄タイムスに掲載された

サンゴ礁文化の保全・継承をめざして
白保魚湧く海保全協議会は、白保の海とその周辺の自然環境・生活環境の保全・再生とサンゴ礁資源の持続的な利用による地域振興の両立を図ることを目的とし、2005年に設立。 2015年より沖縄県知事認定の白保サンゴ礁地区保全利用協定を結ぶ。

※本会はあくまでも白保サンゴ礁環境の維持・向上とその利用による白保地域の活性化を目的としたものであり、政治的活動を目的とするものではない。